

ひっとプラン港北

第4期港北区地域福祉保健計画

計画期間 令和3年度(2021)~令和7年度(2025)



ご挨拶

このたび、第4期港北区地域福祉保健計画を新たに策定しました。港北区は市内最多の約36万人の人口を有しており、少子化と言われる中にも子育て世代が多く、人口増加が引き続き見込まれ、活気が感じられるまちです。

港北区地域福祉保健計画は「誰もが安心して健やかに暮らせるまち 港北」を基本理念に掲げ、平成18年度に第1期計画を策定し、第2期計画からは「ひとつプラン港北」という愛称で、区民の皆様との協働で「ひろがる」「つながる」「とどく」取組を推進してきました。

地域では様々な活動が進み、第3期計画では多様な「居場所」も作られました。また、新型コロナウイルス感染症の急拡大により、大切な人にも会えない状況が続きましたが、そのような中でも感染拡大防止のために様々な工夫を重ねながら、自治会町内会やNPO活動等が行われてきました。

その一方で、近隣関係の希薄化や地域活動の担い手不足、支援を必要とする高齢者等の増加といった課題も浮かび上がってきました。第4期計画の推進により、多彩な地域活動を通じた新たな出会いや多くの参加の機会が「人のつながり」を創出し、生き生きとした豊かな暮らしにつながることを期待しています。

本計画の策定に当たり、計画策定・推進委員の皆様やヒアリングにご協力頂いた福祉関係団体の皆様をはじめ、全ての区民の皆様に深く感謝申し上げます。本計画の実現に向け、引き続きのご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

港北区長 鵜澤 聡明

このたび「誰もが安心して健やかに暮らせるまち 港北」を基本理念とした第4期港北区地域福祉保健計画を策定しました。策定中に新型コロナウイルス感染症が拡大し、私たちの日常生活に大きな影響をもたらしました。これまでの地域活動は難しい状況であり、多くの活動が休止・縮小を余儀なくされる中で、あらためて「人と人とのつながり」や「地域や仲間同士での助けあい」の大切さを実感しています。

また、港北区は経済活動が盛んで交通の利便性も高く、若い世代が多く暮らし、人口が増え続けている活力ある区であります。今後は単身世帯の増加や高齢化が進み、社会的孤立や生活困窮など生活課題は複雑化・多様化していくことが予想されます。

このような社会情勢を踏まえ、知恵やアイデアを出し合い、新しい生活様式に即した、支えあいの体制づくり・居場所づくり・活動への参加の機会づくりなど、「より身近な地域のつながり・支えあい」が推進されるよう、区民の皆様や関係団体等との協働により地域共生社会の実現を目指していきます。

本計画の策定に当たり、様々なご意見をお寄せいただいた区民や関係団体の皆様、そしてご検討いただきました策定・推進会議委員の皆様にご心よりお礼申し上げます。引き続きお力添えをいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人横浜市港北区社会福祉協議会

会長 加藤 修

目次

第1章

港北区地域福祉保健計画とは

1 計画の基本理念	1
2 地域福祉保健計画とは	2
3 「自助」「共助」「公助」の連携	3
4 「ひっとプラン港北」について	3
5 計画の構成	4
6 港北区の特性	5
7 第3期計画の振り返り	6
8 第4期計画を進めるうえでの考え方	11

第2章

港北区地域福祉保健計画の内容

1 推進の柱「ひろがる」	14
重点目標1 幅広い住民の地域活動への参加促進	
重点目標2 未来を担う次世代育成	
2 推進の柱「つながる」	19
重点目標1 人と人とのつながりづくり	
重点目標2 年齢や障害の有無にかかわらず、誰もが 参加できる場づくり	
重点目標3 健康寿命を延ばす取組の推進	
3 推進の柱「とどく」	27
重点目標1 支援が必要な方を発見し支援につなげる 仕組みづくり	
重点目標2 災害に備えた要援護者支援の取組の推進	
コラム	33
新型コロナウイルスとこれからの地域活動	

第3章

地区計画

地区区分と概況	35
日吉地区	37
綱島地区	39
大曽根地区	41
樽町地区	43
菊名地区	45
師岡地区	47
大倉山地区	49
篠原地区	51
城郷地区	53
新羽地区	55
新吉田地区	57
新吉田あすなろ地区	59
高田地区	61

第4章

計画の推進

1 推進体制と取組状況の振り返り	63
2 区役所・区社協・地域ケアプラザ	64

参考資料

1 地域福祉保健計画の位置づけ	67
2 国における法改正・制度見直しの状況	69
3 港北区の地域福祉保健に関する状況	70
4 区民意識調査結果	75
5 第4期計画策定の経過	79
6 用語集	81
7 「ひっとプラン港北」策定・推進会議、 同検討部会委員名簿	85